



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社紀文食品

上場取引所 東

コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ統括室長 (氏名) 上野 勝

TEL 03-6891-2600

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,788	10.0	786		749		1,332	
2022年3月期第2四半期	42,547		183		0		31	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 867百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 195百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	58.37	
2022年3月期第2四半期	1.42	

(注) 1. 当社は、2021年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	69,930	12,939	18.1
2022年3月期	63,514	14,182	21.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 12,645百万円 2022年3月期 13,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,052	4.9	3,831	0.6	3,319	2.3	2,192	15.5	96.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	22,829,781 株	2022年3月期	22,829,781 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	20 株	2022年3月期	20 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	22,829,761 株	2022年3月期2Q	22,493,779 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益又は 経常損失(△)	親会社株主に帰属 する四半期純損失 (△)
2023年3月期第2四半期連結累計期間	46,788	△786	△749	△1,332
2022年3月期第2四半期連結累計期間	42,547	183	0	△31

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の平常化が進む一方、依然として地政学的リスクが内在するとともに、様々な価格上昇に伴う購買活動の減退がリスクとして顕在化しております。一方でわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、人流を伴う経済活動に回復傾向が見られるものの、需給バランスや為替相場の影響に伴う原材料価格やエネルギーコストの上昇を受け、様々な商品やサービスの価格上昇が同時進行し、短期的な見通しが難しい状況が続いております。

食品業界におきましては、百貨店や外食店、駅ビル等への人の流れが回復する一方、小売市場では様々な商品の値上げによる消費者の生活防衛に対する意識は依然として高く、特需的な内食需要の落ち着きも相まって厳しい経営環境が続いております。

このような環境下において当社グループでは、2021年4月よりスタートした中期経営計画において掲げる「成長の加速」「経営効率の改善」「経営基盤の整備」の3つの経営方針に基づき、グループ連結での収益性向上と財務体質改善による『持続的成長サイクルの確立』を目指した取組みを推進し、企業価値の更なる向上に努めてまいりました。また、経営の透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みを構築することを重要な課題と位置づけ、コーポレート・ガバナンスの充実に継続して取り組んでおります。さらに温室効果ガス削減への取組みを初めとする環境負荷低減の活動や、和食を中心とする日本文化の次世代への継承など社会貢献に関する取組みを実践しております。一方で事業活動に直面する様々なリスクや課題に対して、財務・非財務両面での影響を最小化するように、対応策を検討し機動的に実行しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高46,788百万円(前年同期比10.0%増)、営業損失786百万円(前年同期は営業利益183百万円)、経常損失749百万円(前年同期は経常利益0百万円)となりました。また、投資有価証券の減損処理、通期では解消されるものの税効果に係る会計処理の前期との差異による税金費用の増加などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失1,332百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円)となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品である水産練り製品・惣菜は冬季におでん・鍋物等に向けての需要が高まることと12月におせち料理関連商品の売上が集中するため、第3四半期に偏重する傾向にあります。前期及び当期における当社グループの各四半期における売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益又は営業損失(△)は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2022年3月期 前連結会計年度				2023年3月期 当連結会計年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高 (通期割合)	20,833 (21.0%)	21,713 (21.9%)	31,719 (32.0%)	24,936 (25.1%)	22,848 (22.0%)	23,940 (23.0%)	—	—
営業利益又は 営業損失(△)	140	42	3,059	567	△70	△715	—	—

(注) 当連結会計年度の売上高の通期割合については、通期業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内食品事業)

国内食品事業では、国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、取扱い商材が好調に推移した商事部門での売上が伸張しました。また、国内食品市場向けでは、引き続き主力である水産練り製品が堅調に推移しました。特にカニカマやちくわの他、次世代の需要層に向け当社独自の製法を用いたキャラクター蒲鉾「すみっこぐらしかまぼこ」や「ハローキティ ポムポムプリンかまぼこ」が好調に販売を伸ばしました。さらにSNSを活用した販促プロモーションを積極的に展開し、商品認知度の向上と売上拡大に貢献しました。一方で、内食向けの特需が一段落した中華惣菜や麺状商品は対前年比で減少しました。

利益面では、引き続き原材料や資材、エネルギーなどのコスト上昇が想定以上の高水準で推移しており、この対策として今年2月に続き8月29日店着分から一部の商品に対する価格改定を実施しました。

この結果、当セグメントの売上高は31,231百万円(前年同期比6.7%増)となり、セグメント損失は1,704百万円(前年同期はセグメント損失454百万円)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)
第2四半期連結累計期間	29,271	△454	31,231	△1,704

(海外食品事業)

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、一部の市場で新型コロナウイルス感染症に対する政策的な活動停止が継続されたものの、経済活動の平準化に伴い実需が顕在化している市場では、水産練り製品に加え農畜産品や惣菜など仕入商材の販売も拡大しました。また、米国では「Healthy Noodle(糖質0g麺)」が、引き続き順調に販売を伸ばしました。

利益面では、水産練り製品など自社製商材の売上構成比が高まったことによる利益率の上昇と、それらも含めた売上高が大きく増加したことにより増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,898百万円(前年同期比46.3%増)となり、セグメント利益は790百万円(前年同期比69.6%増)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
第2四半期連結累計期間	4,716	466	6,898	790

(食品関連事業)

食品関連事業では、国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当事業セグメントの中心である物流事業において、社会活動の停滞により減少していた外食・百貨店・駅ビル向けの物量が、行動規制終了に伴い回復が顕著となり、売上増となりました。

利益面では、物流センターでの電力費が依然として想定以上に増加しているものの、配送効率や業務効率の向上に向けた取組みが奏功しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,658百万円(前年同期比1.2%増)となり、セグメント利益は209百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント 利益	売上高	セグメント 利益
第2四半期連結累計期間	8,559	204	8,658	209

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は69,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,416百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6,042百万円増加し、33,941百万円となりました。これは主に現金及び預金が616百万円増加、年末に向けた生産により商品及び製品が1,889百万円増加、仕掛品が679百万円増加、主原料の調達により原材料及び貯蔵品が1,983百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円増加し、35,989百万円となりました。これは主に有形固定資産の「その他」に含まれるリース資産(有形)が217百万円減少した一方、退職給付に係る資産が528百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は56,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,658百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7,333百万円増加し、34,431百万円となりました。これは主に主原料等の調達増加により支払手形及び買掛金が1,211百万円増加、運転資金の調達により短期借入金が5,457百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ325百万円増加し、22,559百万円となりました。これは主に資金の調達により長期借入金が299百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,242百万円減少しました。これは主に利益剰余金が1,675百万円減少した一方、為替換算調整勘定が621百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は18.1%（前連結会計年度末は21.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

地政学的リスクや各国の金融政策による経済活動への影響が国内外で発現し、また原材料やエネルギーなど様々な価格が上昇するなど、当社の事業環境は楽観視できず見通しが不透明な状況にあります。その中でも、各市場における第3・第4四半期の需要期を確実に捉えて売上を堅実に積み上げるとともに、事業面での様々なリスク要因に対し、引き続き効果性の観点から取組みの優先度を判断し機動的に対策を講じ実行していくことで、売上及び利益の確保を図ってまいります。これにより当期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」にて公表した通期の連結業績予想から変更はありませんが、今後修正が必要となりました場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,633,941	8,250,354
受取手形、売掛金及び契約資産	10,226,328	10,703,574
商品及び製品	4,950,570	6,840,250
仕掛品	269,530	948,958
原材料及び貯蔵品	3,833,515	5,816,956
その他	996,139	1,392,170
貸倒引当金	△10,573	△10,736
流動資産合計	27,899,452	33,941,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,670,539	5,552,710
機械装置及び運搬具(純額)	1,693,858	1,830,065
土地	5,823,744	5,849,467
その他(純額)	3,954,714	3,819,344
有形固定資産合計	17,142,856	17,051,588
無形固定資産	758,240	679,184
投資その他の資産		
投資有価証券	1,963,258	1,924,400
退職給付に係る資産	14,473,589	15,001,624
繰延税金資産	101,563	153,114
その他	1,176,657	1,180,899
貸倒引当金	△1,600	△1,600
投資その他の資産合計	17,713,468	18,258,439
固定資産合計	35,614,565	35,989,213
資産合計	63,514,018	69,930,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,540,607	9,752,083
短期借入金	3,785,338	9,243,152
1年内償還予定の社債	760,680	697,080
1年内返済予定の長期借入金	7,973,341	8,187,646
未払法人税等	405,738	298,253
賞与引当金	810,888	1,120,571
その他	4,821,377	5,132,930
流動負債合計	27,097,971	34,431,717
固定負債		
社債	1,514,320	1,650,080
長期借入金	11,712,481	12,012,254
繰延税金負債	4,403,888	4,499,902
退職給付に係る負債	165,827	189,107
資産除去債務	308,757	310,435
その他	4,128,706	3,897,308
固定負債合計	22,233,981	22,559,087
負債合計	49,331,953	56,990,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	5,158,630	3,483,519
自己株式	△33	△33
株主資本合計	13,470,374	11,795,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,969	198,017
繰延ヘッジ損益	20,661	59,008
為替換算調整勘定	△602,880	18,464
退職給付に係る調整累計額	784,230	574,725
その他の包括利益累計額合計	395,981	850,216
非支配株主持分	315,709	294,458
純資産合計	14,182,065	12,939,938
負債純資産合計	63,514,018	69,930,743

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	42,547,274	46,788,297
売上原価	33,303,168	38,017,889
売上総利益	9,244,106	8,770,407
販売費及び一般管理費	9,061,082	9,557,020
営業利益又は営業損失(△)	183,024	△786,612
営業外収益		
受取利息	219	1,057
受取配当金	32,213	21,804
持分法による投資利益	31,137	37,693
為替差益	39,536	250,256
その他	31,182	24,460
営業外収益合計	134,290	335,272
営業外費用		
支払利息	264,122	270,215
その他	52,927	28,372
営業外費用合計	317,049	298,588
経常利益又は経常損失(△)	265	△749,928
特別利益		
投資有価証券売却益	20,944	-
特別利益合計	20,944	-
特別損失		
固定資産除売却損	9,041	3,806
投資有価証券評価損	-	63,564
減損損失	40,515	51,534
特別損失合計	49,556	118,905
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,347	△868,833
法人税、住民税及び事業税	211,624	334,589
法人税等調整額	△225,326	114,263
法人税等合計	△13,702	448,852
四半期純損失(△)	△14,644	△1,317,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,249	14,978
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,894	△1,332,664

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△14,644	△1,317,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,926	3,956
繰延ヘッジ損益	△8,795	38,346
為替換算調整勘定	68,912	606,918
退職給付に係る調整額	△203,182	△213,661
持分法適用会社に対する持分相当額	7,553	14,317
その他の包括利益合計	△180,439	449,877
四半期包括利益	△195,083	△867,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△208,418	△878,429
非支配株主に係る四半期包括利益	13,335	10,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結会計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

当社は、2021年4月13日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。上場にあたり、2021年4月12日を払込期日とする公募増資(ブックビルディング方式による募集)による新株式3,000,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,609,500千円増加しております。また、2021年5月12日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出し)による新株式621,600株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ333,488千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が6,368,788千円、資本剰余金が1,942,988千円となっております。

当第2四半期連結会計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	29,271,648	4,716,300	8,559,326	42,547,274	-	42,547,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,195,320	2,613,005	2,848,626	6,656,953	△6,656,953	-
計	30,466,969	7,329,305	11,407,953	49,204,228	△6,656,953	42,547,274
セグメント利益又は損失(△)	△454,895	466,163	204,633	215,901	△32,877	183,024

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△32,877千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上してあります。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」38,979千円、「食品関連事業」1,536千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	31,231,378	6,898,797	8,658,121	46,788,297	-	46,788,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,513,453	2,472,352	2,836,242	6,822,048	△6,822,048	-
計	32,744,831	9,371,149	11,494,364	53,610,345	△6,822,048	46,788,297
セグメント利益又は損失(△)	△1,704,772	790,605	209,031	△705,135	△81,477	△786,612

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△81,477千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、51,534千円であります。